

## 新型コロナウイルスとの戦いに関する ABAC プレスリリース【仮訳】

2020年3月28日

### APECにおける協力がCOVID-19と戦う最良の戦略、とビジネス界が主張

COVID-19 パンデミックがもたらしている健康と経済に対する重大な脅威に対抗するために APEC のリーダーシップと域内の協力が必要とされている、とアジア太平洋の各国・地域のビジネスリーダーが強調した。

「当然のことながら、現時点において最も重要なのは人の命を救うことである」と、ダトー・ロハナ・マハムード APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC: APEC Business Advisory Council) 議長は述べた。「そのために今必要とされているのは、健康に影響をもたらす感染症に対抗し、経済に短期的に与えられる最悪の影響を軽減することに資する知見とツールに関してアジア太平洋域内で広く協力することである。また、パンデミックが最悪の事態から落ち着き始める段階においては、その後の速やかな経済的回復に向けた道筋をつけることも必要である」とダトー・ロハナ議長は続けた。

議長は、APEC 域内において貿易と外務を担当する閣僚に対して ABAC として書簡を送り、パンデミックと戦う上で欠かせないツールの貿易を行う際の障壁を取り除くようリーダーシップを発揮することを求めたと述べた。その中には医療用機器、医薬品、ハンドソープ、消毒液、人体防護服などの基本的な防護アイテムが含まれる。議長は付け加えた。「これらの取り組みを後押しするために、各国・地域は、これら必需品の貿易が促進されるように国境における輸出入の手続きを簡素化し、迅速化すべきである。また、医療従事者をはじめとする必須の人材が、最も必要とされている地域に国境を越えて速やかに移動できるように、関連規制を緩和すべきである。」

「上述のすべての施策を下支えするために、APEC の各国・地域は、パンデミックを封じ込めるに際しての各々の経験を共有し、また、公衆衛生対策に関するデータや調査結果を共有し、協力すべきである」とダトー・ロハナ議長は付け加えた。

さらに議長は、今とるべき行動は、感染症対策以上の事項にも及ぶべきであると述べた。「本件はすでに金融危機、経済危機ももたらしつつある。雇用、ビジネス、サプライチェーンに及ぼしている影響はすでに重大である。われわれが特に心配しているのは、小規模ビジネス、自営業者、また非公式経済に所属する人々であり、彼らは、今の経済的影響に耐えるだけの装備を備えていない。われわれが域内の閣僚に対して訴えたいのは、失業率の急増、企業の

倒産、流動性、債務、納税などに関してビジネス界が直面している課題に対処するためのアイデアの共有と域内協力の必要性である。」

ダトー・ロハナ議長はまた長期的な視点から、貿易と投資を推進するエンジンを速やかに再稼働できなければ、経済的回復にはより長い時間がかかってしまう、と述べた。「われわれは APEC の各国・地域政府に対して、本年の残りの期間において、すべての新たな貿易制限的措置の取りやめを発表し、さらに保護主義をこれ以上進ませないための具体的施策について合意するよう呼びかける」と議長は付け加えた。「域内の最も経済的影響を受けやすい各コミュニティは食料およびほかの必須の家庭用品へのアクセスを必要としている。われわれビジネス界は、各国の経済を再建するために、再投資を行うための確信を必要とする。あらゆる保護主義が、経済再建への道を妨げてしまう。」

APEC 各国・地域の政府に対して ABAC が呼びかけたのは、上述の各施策を推進するために、デジタル技術とコネクティビティを可能な限り活用することであり、それにより、域内での効果的な協力が可能となり、また、経済的活動を一定レベルで継続できることとなる。「ブロードバンドなどの耐性のあるデジタル・インフラを、域内で新興国も含めて利用可能とすることが必須である。同様のことが、越境データ・フローに対する障壁を最小化することについても言える」とダトー・ロハナ議長は付け加えた。

議長が最後に述べた。「今われわれが経験しているグローバルな封鎖状態については先例がなく、また、この状態からの回復方法に関するガイドブックも存在しない。したがって、今われわれが直面している諸課題に対処すべく APEC 各国・地域が協調し、各国・地域の国境を可及的速やかに開放すべく必要な手を打っていくことが求められている。」

以上